

児童養護施設に入所してる児童の スマートフォン等の所持に 関する調査結果

スマホ里親ドットネット

2026年3月

調査概要

調査名 児童養護施設に入所している児童のスマートフォン等の所持に関する調査

調査対象 全国に所在する児童養護施設599施設

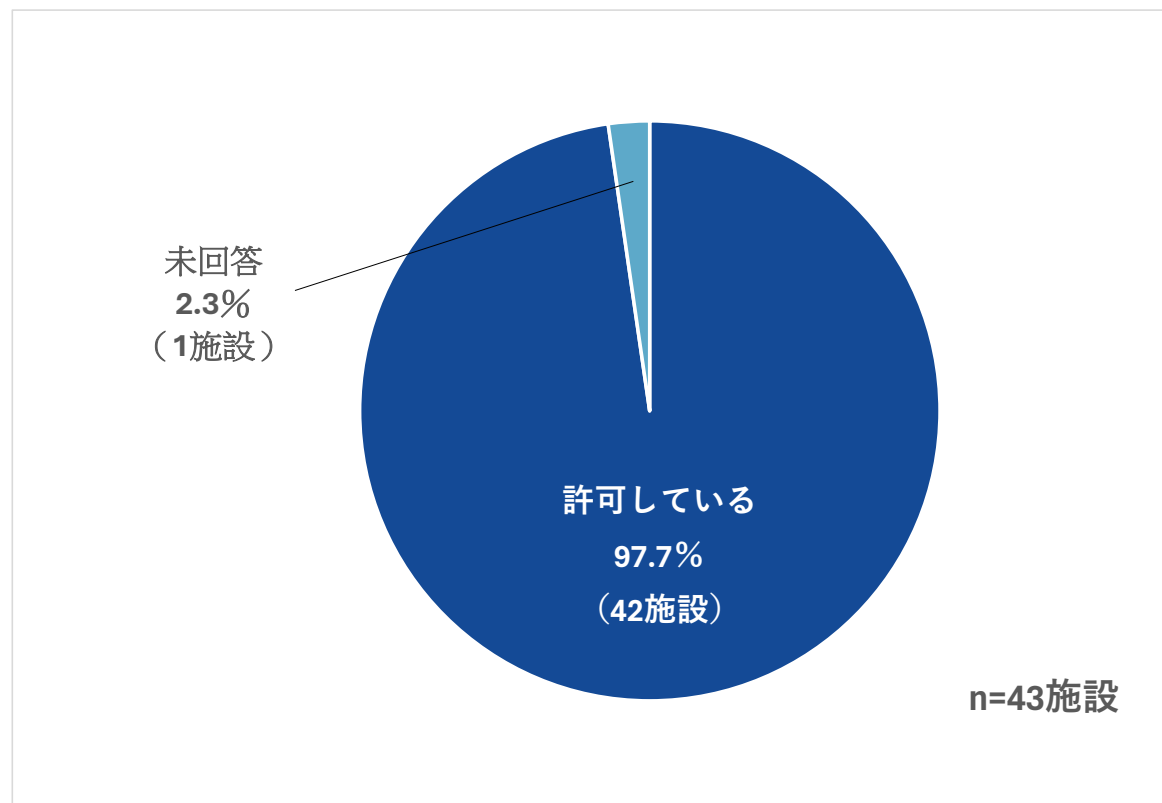
回答数 43施設 (回答率7.2%)

実施期間 2025年12月25日～2026年1月31日

調査手法 グーグルフォームによるアンケート調査

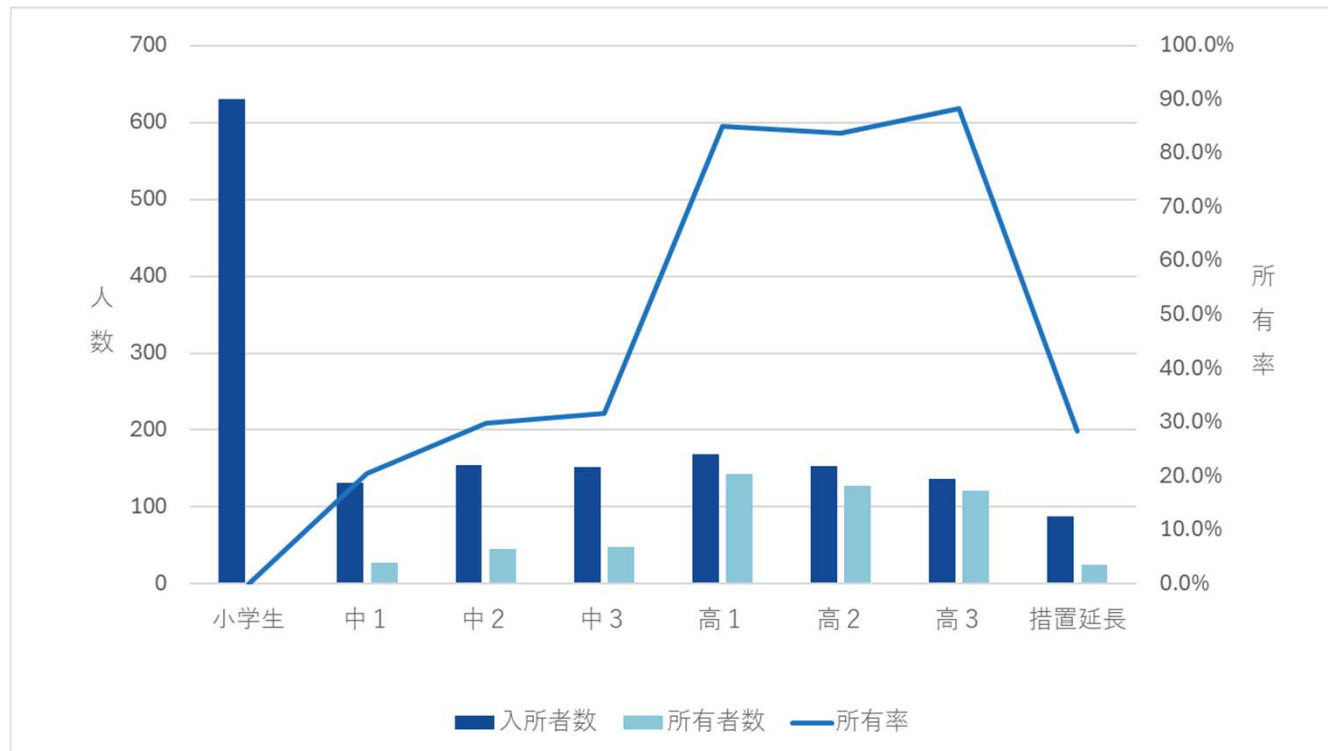
児童がスマートフォン等の所持することを 認めていますか？

スマホ等の所持を認めている児童養護施設が97.7%と大半を占めている



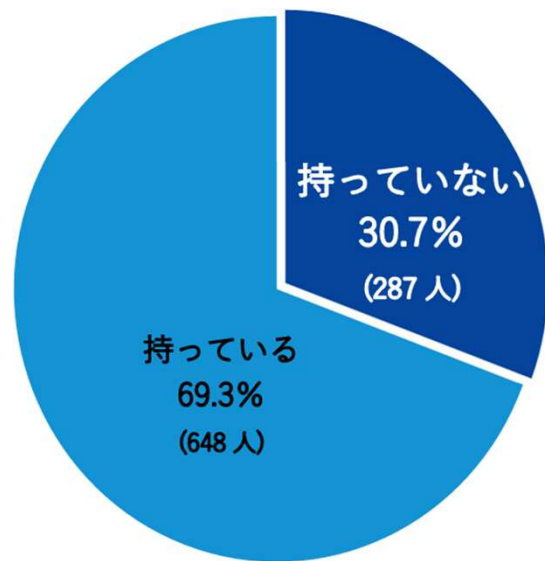
スマホを所持している児童（学年別） の所有率の比較

高校生が85.6%の児童がスマホを所持している現状に対し、中学生は27.6%に留まっている
年齢の上昇に伴い所持率も上がっていくが、措置延長者では所持率が急激に下がっている



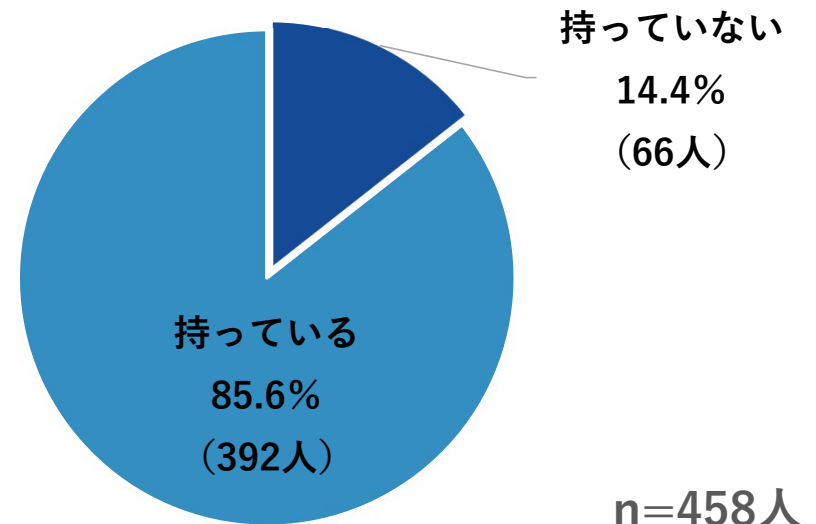
スマホを所持している児童（高校生） とその割合

高校生に限定すると、85.6%の児童がスマホを所持している
2019年の調査結果と比べると、スマホ所持率は上昇している



n=935人

2019年



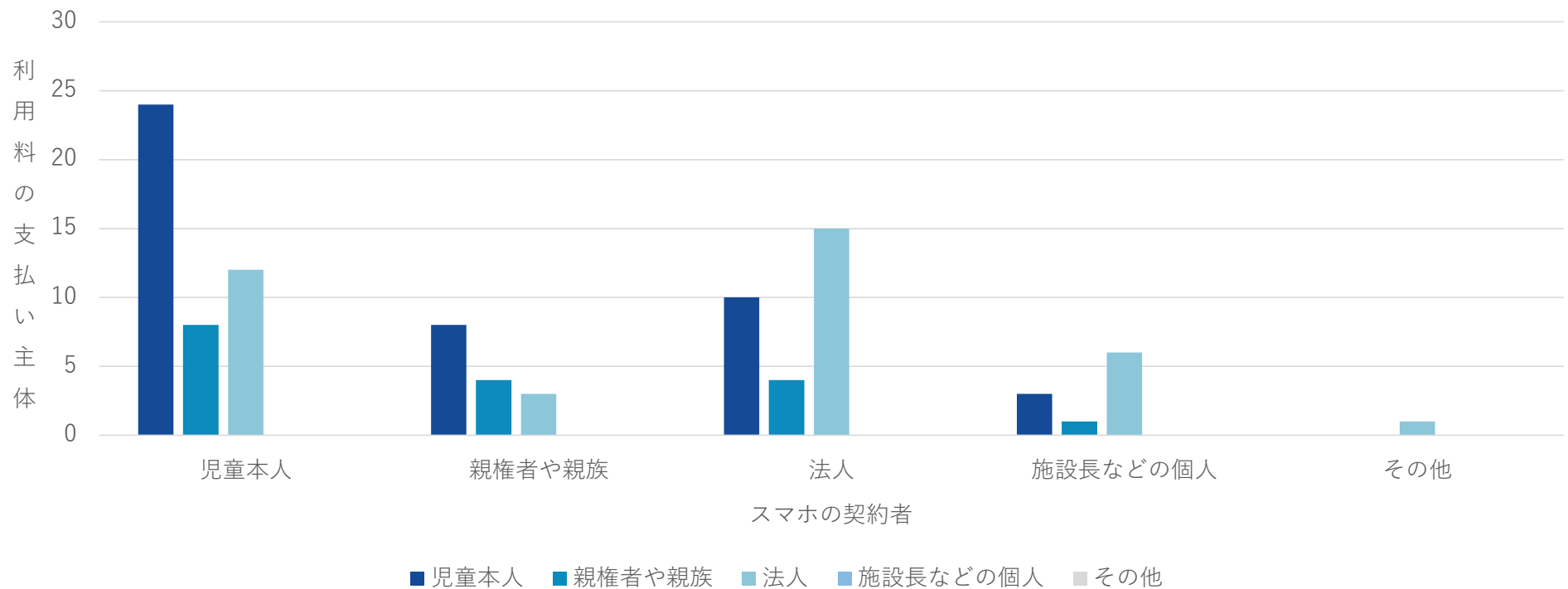
n=458人

2026年

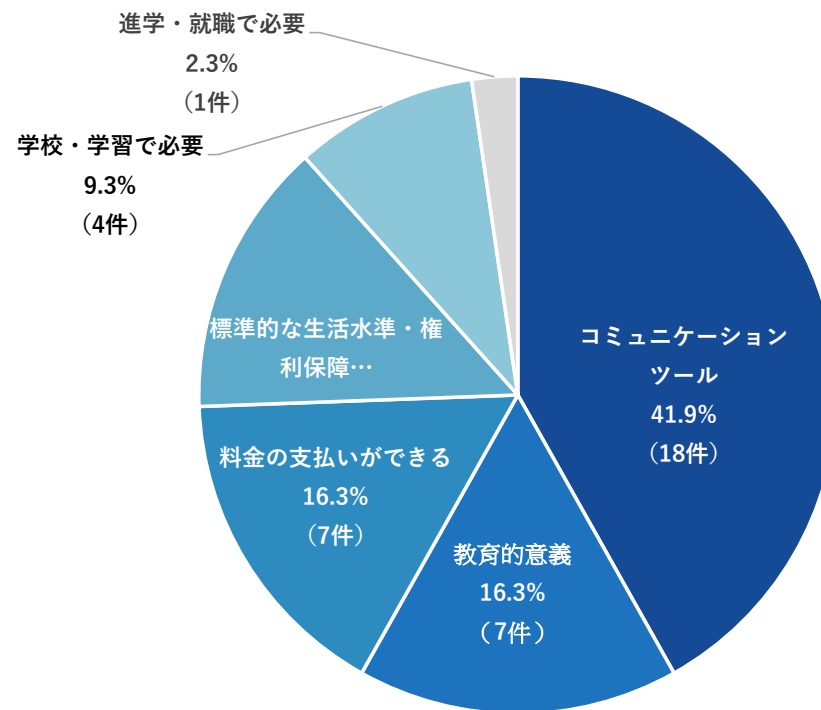
契約名義人と支払いの主体について (複数回答あり)

契約名義人は児童本人で、支払いの主体も児童本人である場合が多い
続いて多いのは、契約名義人は入所する施設の運営法人で、支払いの主体も法人というパターン

※複数回答あり



児童にスマートフォン等の所持を認めている理由を教えてください

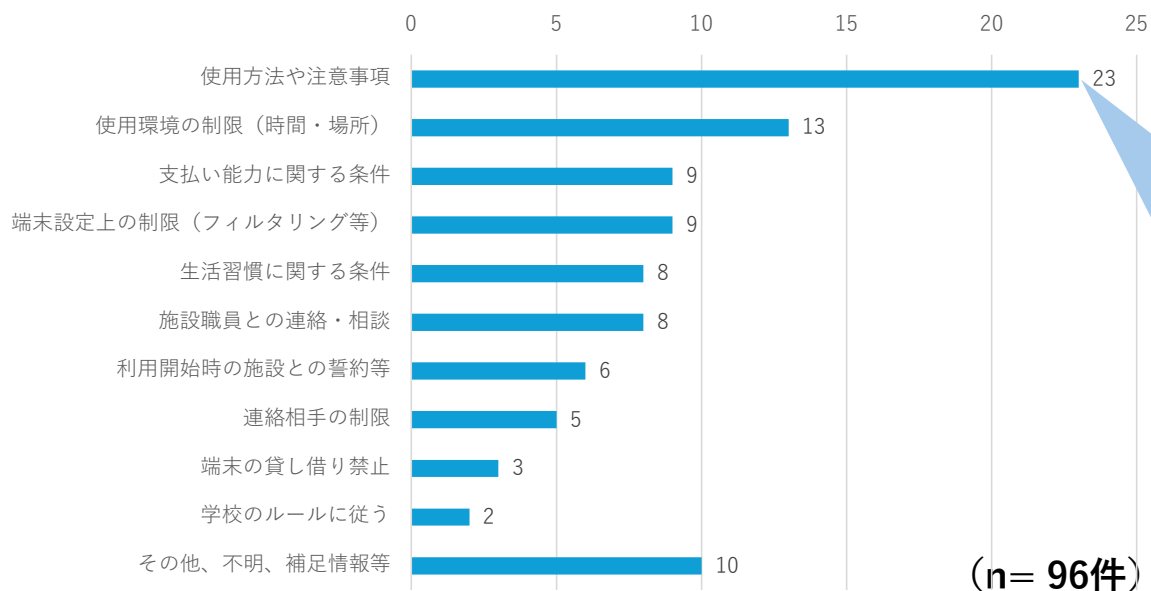


n=43件

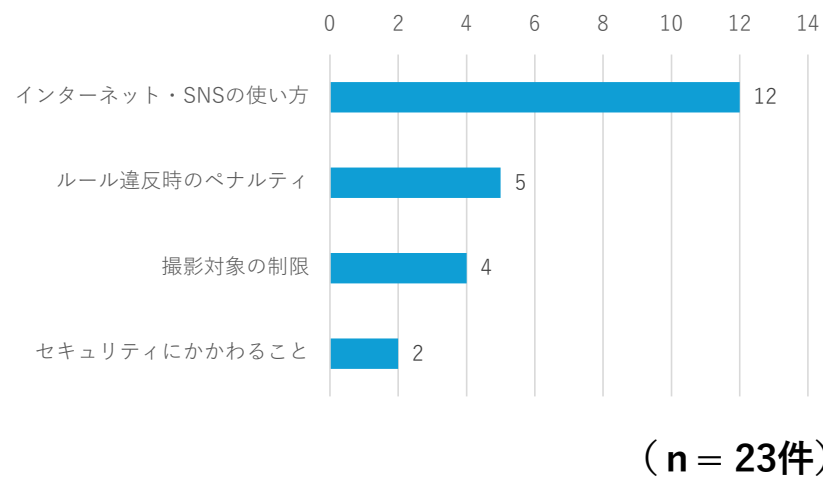
児童のスマートフォン等の所持に、規則や条件を設けていますか。具体的に教えてください。

【結果】

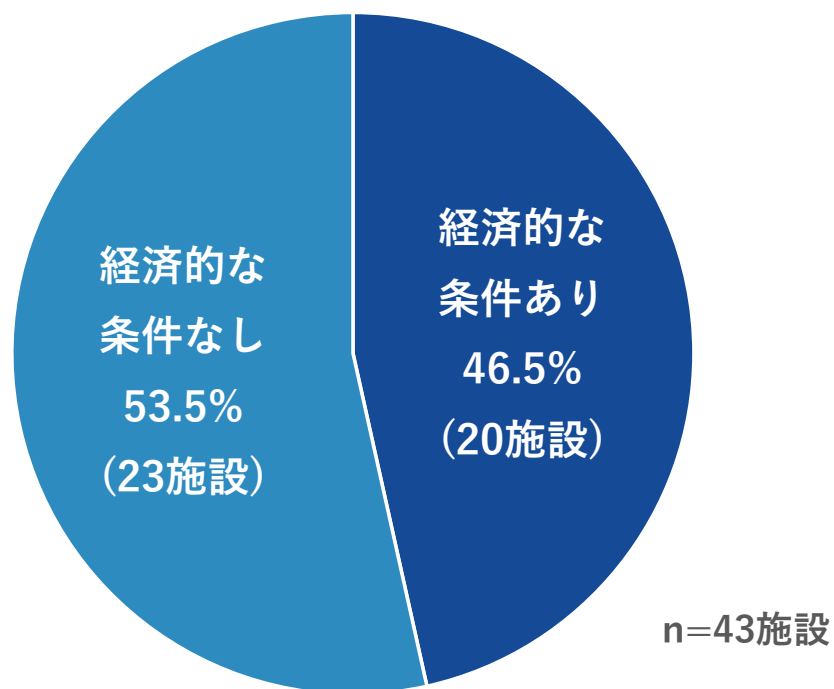
問7



問7「使用方法や注意事項」の内訳



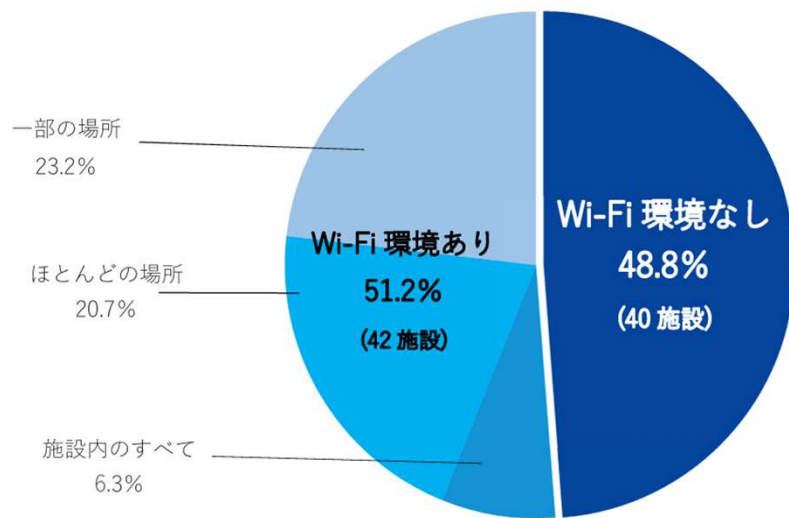
スマートフォン等の所持に『経済的な条件』のある児童の割合



(注)
全設問の中から、経済的な条件に該当する回答があった施設と、なかった施設との割合を表記

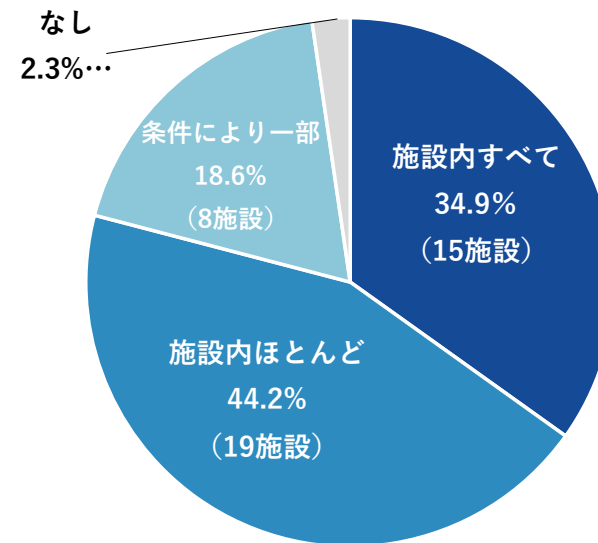
児童養護施設にWi-Fi環境が有るか

現状は約98%の施設にWi-Fi環境が有る事がわかる
2019年の調査と比較すると、Wi-Fi環境の整備が進んでいることがわかる



2019年

n=82 施設

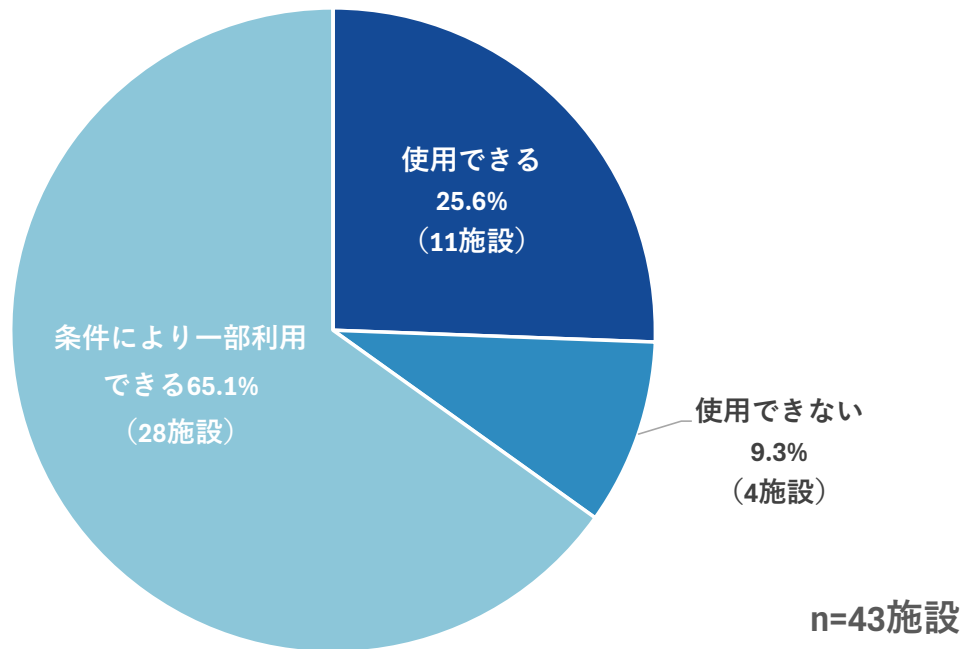


2026年

n=43施設

児童養護施設のWi-Fi環境を児童が 利用できるか

ほぼ全ての施設にWi-Fi環境が有るが、約65%の施設では児童が使用する事には一部制限がある
Wi-Fiを使用できない施設も約9%あり

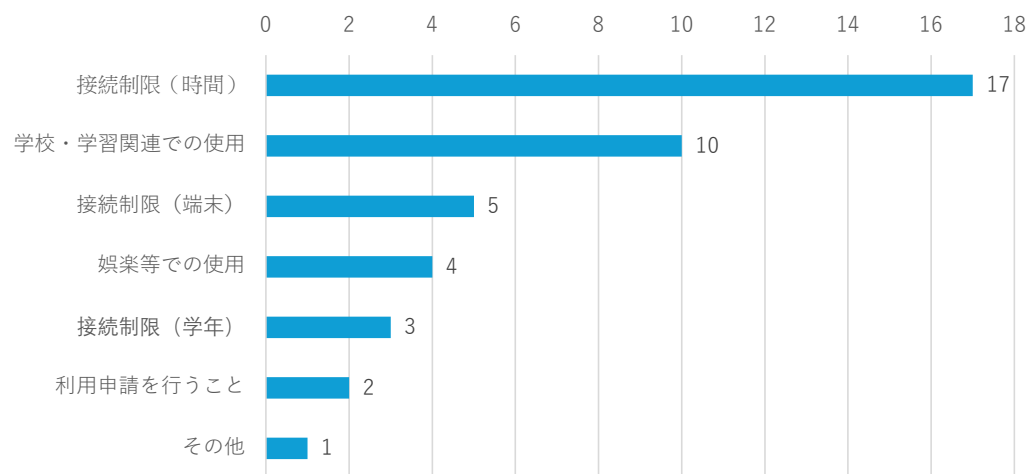


「条件により一部の人や時間帯において使用できる」とお答えいただいた場合、
どういった条件であれば使用できるか教えてください。

夜間はWi-Fiルーターのコンセントを抜くなど、環境設定しているという回答が4件見られた。
「学校・学習関連での使用」という回答のうち、半数は他の目的で利用を認めていない
施設の共用パソコンや学校配布のタブレットからの接続を認め、高校生以上はスマホからの接続も許可する
など、端末や児童の学年を掛け合わせて、Wi-Fiを利用できる自由度が変わる、という回答もあった。

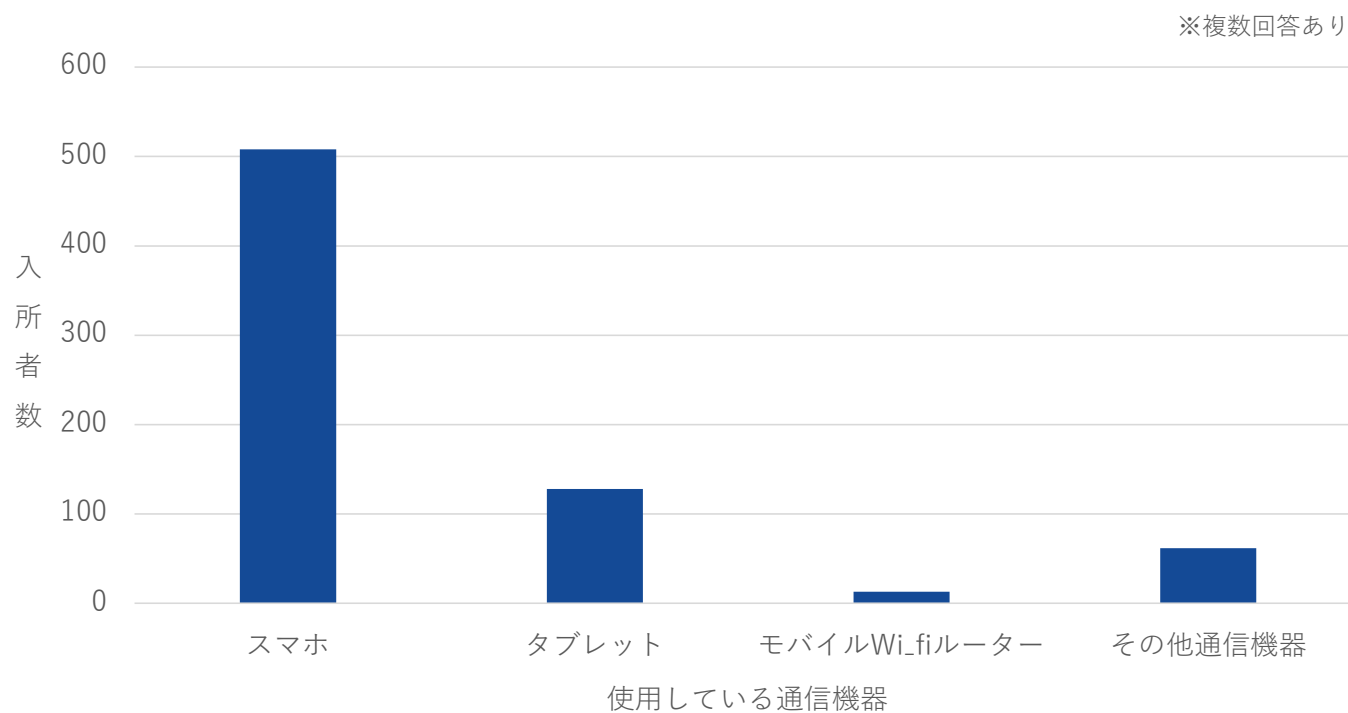
【結果】

問8-3



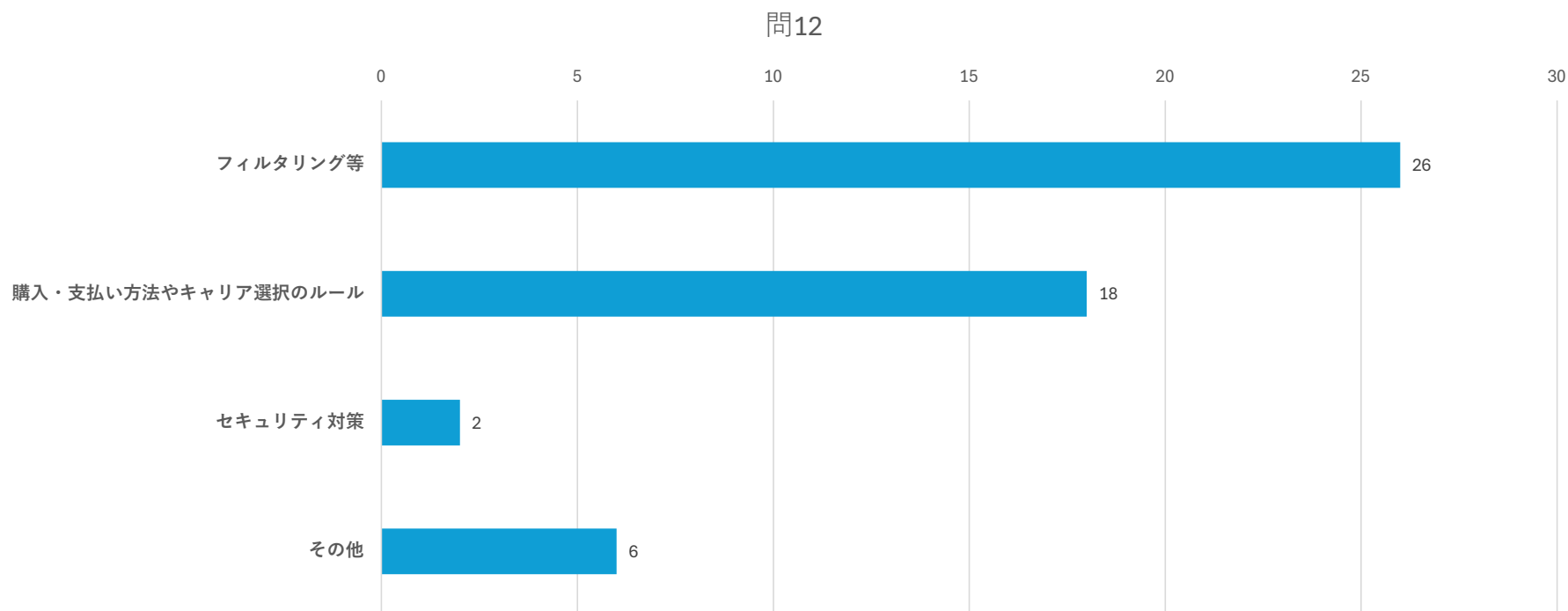
(n=42件)

児童が使用している通信機器



スマートフォン等の契約において、貴施設で工夫していることがあれば教えてください。(例：支払い方法、金額の上限設定、有害サイトのフィルタリング、格安SIMの利用など)

【結果】

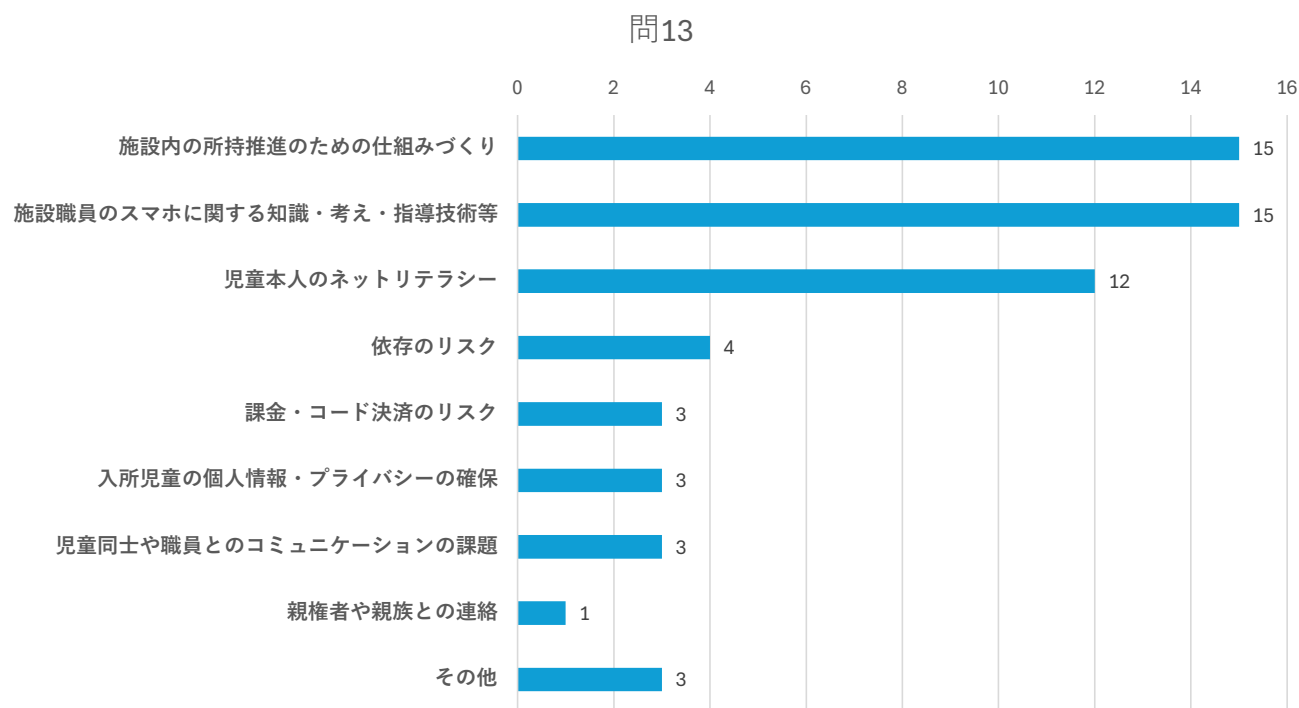


(n= 52件)

児童養護施設に入所している児童のスマートフォン等の所持や利用に関して、施設での課題や、支援方法、政策の必要性などについてご自由に記述ください。

課題の上位3件は①「施設内の所持推進のための仕組みづくり」、②「施設職員のスマホに関する知識・考え・指導技術等」③「児童本人のネットリテラシー」で、合計で全体の70%以上を占めた。

【結果】



(n = 59件)

アンケート調査してわかったこと

- ①児童がスマホを所持することを容認している施設が97.7%
- ②児童本人による経済的負担が、所持の条件である場合がある
- ③スマホ使用については、利用用途・時間の自由度に制約がある
- ④児童をリスクから守り、かつ児童本人が自立して安全にスマホを利用する力を養うために、指導の方法やどの程度の制限を行うか、児童養護施設職員も模索している